

令和 6 年 7 月 19 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 芥 川 真 一

第 541 回 構造懇話会 令和 6 年度 例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の令和 6 年度例会を下記のとおり開催いたします。

本会も、会員の皆様がよりご参加しやすい環境の取り組みとして「ハイブリッド開催（会場参加
+ オンライン参加）」とさせていただきます。多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和 6 年 8 月 2 日（金） 14:00～16:15

2. 場 所 神戸市教育会館 404 号室（会場参加）

神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

URL : <http://www.kobekhall.com/>

（※講演はこの会場で行われます。）

（オンライン参加）【Zoom による参加】

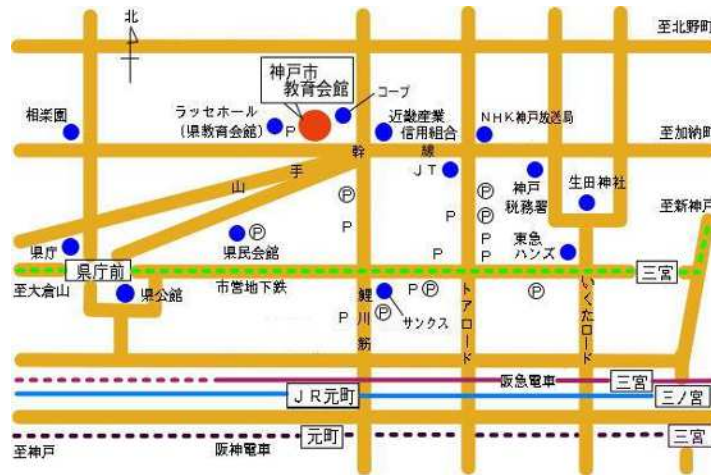
<https://zoom.us/j/95753629702?pwd=V2ovdU44V3pCTmR0WVc4Wmt2UmFhZz09>

ミーティング ID: 957 5362 9702

パスコード: 237116

オンライン参加の方には、各発表の開始 3 分前に Zoom のチャットボックスにて資料配布を行います。*

【案内図】



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

※幹事が資料を配布した後に Zoom にログインされた場合、資料を受け取れない可能性がありますので、お早目にログインをお願いします。

※会場参加される方でノート PC やタブレットをお持ちの方は、印刷にかかる費用や地球環境への負荷の面から、極力データでの資料の閲覧をお願いします。

※CPD 登録について

本プログラムは土木学会認定 CPD プログラムです。

土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

3. 議 題

1) 例会 1

14:00～14:50

『兵庫県における橋梁長寿命化修繕計画の概要と
耐候性鋼橋梁の実態調査を踏まえた対応』

兵庫県 松本 昌祥 氏

報告概要

兵庫県では、管理する橋梁（約 4,600 橋）のうち建設後 50 年以上経過する高齢化橋梁が 20 年後には 81%にまで激増する。そのため、橋梁の長寿命化、コスト平準化を図るために計画的な点検・補修を実施すると共に、新設橋建設時にはLCCや維持管理のしやすさを考慮した構造を採用している。

特に鋼橋では、LCC 低減を目的としてとなる耐候性鋼橋梁を積極的に採用しており、これまで、飛来塩分量が多く、安定さびが形成されにくい沿岸部以外で採用してきたが、他自治体の報告では、内陸部においても凍結防止剤散布の影響が疑われる局所的な異常錆の発生事例も報告されており、内陸部での取扱いの検討が急務となっている。

本発表では、兵庫県の長寿命化修繕計画の概要を述べるとともに、県内にある耐候性鋼橋梁の現地調査結果を踏まえ、内陸部における耐候性鋼橋梁の採用可否の検討結果と今後の方向性、維持管理における留意事項を述べる。

休憩

14:50～15:10

2) 例会 2

15:10～16:00

『本州四国連絡高速道路の耐用 200 年以上を目指して』

本四高速道路ブリッジエンジニアリング株式会社 伊藤 進一郎 氏

報告概要

当社は JB 本四高速グループの一員として、本州四国連絡高速道路株式会社が管理する道路 3 路線（神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央道、西瀬戸自動車道）を構成する道路施設の維持管理を担っている。昭和 54 年 9 月供用の大三島橋を始め、平成 11 年 5 月共用の多々羅大橋、来島海峡大橋を最後に長いものでは約 45 年経過し、鋼材の腐食を代表とする様々な変状が現れてきたが、200 年以上の耐用を目指して予防保全を基本とした維持管理を進めているところである。発表では実橋で生じている変状の実態とその対応について紹介するとともに、これまで培った長大橋維持管理に関する経験を基に他道路管理会社が管理する長大橋の塗膜状況調査、疲労亀裂調査等の技術支援、その他点検作業の効率化を目的に開発した技術について紹介するものである。

3) 見学会について

16:00～16:15

【連絡先】

協和設計株式会社 赤木 昌詩

E-mail : akagi@kyowask.co.jp

Tel : 072-627-9351 / Fax : 072-627-9357

構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>